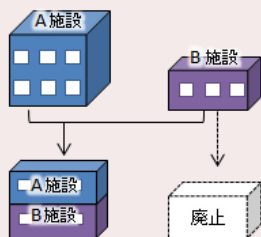


# 篠ノ井地区の公共施設について考える 市民ワークショップ開催のお知らせ

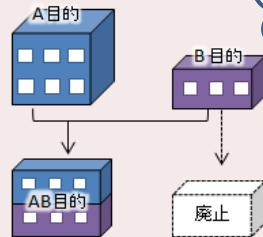
人口減少、少子高齢化が進展する中、地域の賑わいやまちづくり、世代間交流などにつながる、公共施設の「量」と「質」の見直しが求められています。

そこで、これからの「篠ノ井」の、篠ノ井駅周辺の市有施設を中心に、みんなで考える、市民ワークショップを開催します。

複合化



多機能化



施設の集約化で  
「にぎわい」づくり

複合化・多機能化に  
よる「多世代交流」

主催者：長野市

(担当：公共施設マネジメント推進課、篠ノ井支所)

協力：篠ノ井地区住民自治協議会

参加者：約40名(公募メンバーほか)

	開催日	内容(予定)
第1回	8月6日(日)	オリエンテーション、グループワーク
第2回	8月27日(日)	グループ討議① テーマ：公共施設に求められる機能、必要なサービス等
第3回	9月10日(日)	グループ討議② テーマ：篠ノ井駅周辺の公共施設再配置の将来像
第4回	9月23日(土)	グループ意見発表、まとめ

いずれも時間は午後2時から4時まで、場所は「篠ノ井公民館」です

## ◇◇ ワークショップのねらい ◇◇

公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民の皆さまと市と一緒に検討する、地域の公共施設に関する試みです。

様々な意見を自由に出し合っただき、各グループからの提案を、今後の公共施設再配置検討のたたき台にしたいと考えます。

なお、対象施設の整備方法や存続廃止などを決める場ではありません。

## 【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

篠ノ井支所 電話：292-2590

ワークショップは公開で  
す。興味のある方は、  
ぜひお越しください。

裏面もご覧ください

【ワークショップの全体テーマ】

①篠ノ井地区公共施設整備、②南部図書館の移転改築、③篠ノ井駅周辺の活性化対策

## 篠ノ井地区 市民ワークショップの主な検討対象施設

施設名称	経過年数	延床面積 (㎡)	施設名称	経過年数	延床面積 (㎡)
篠ノ井西小学校	43	8,711	篠ノ井体育館	37	916
通明小学校	34	7,687	茶臼山屋内運動場	29	787
篠ノ井西中学校	25	11,108	茶臼山市民プール	43	162
篠ノ井東中学校	28	9,289	ふたば園	31	171
篠ノ井公民館川柳分館	14	450	篠ノ井愛の樹園	38	279
篠ノ井中央人権同和教育集会所	32	132	子供の園保育園	35	499
南部図書館	38	2,131	西部保育園	7	1,097
南部勤労青少年ホーム	36	1,034	中央保育園	41	859
南部働く女性の家	28	697	篠ノ井西児童センター	36	300
篠ノ井こども広場	49	551	篠ノ井中央児童センター	43	317

経過年数は平成29年4月時点です

※ 現在の篠ノ井支所、篠ノ井公民館、中央分室、老人福祉センターについては、「(仮称)篠ノ井総合市民センター」として整備中ですので、検討対象施設からは除きます。

**RISTEX** 社会技術研究開発センター  
Research Institute of Science and Technology for Society

～社会との協働が生む、社会のための知の実践～

## 篠ノ井地区市民ワークショップは BaSSプロジェクトとの共同事業です

長野市は、「地域を持続可能にする公共資産経営の支援体制の構築(=BaSS)」プロジェクトの研究代表者 前橋工科大学堤洋樹准教授と連携協定を締結しています。

堤准教授は、昨年度芋井地区で開催した市民ワークショップでアドバイザーを務めており、今回の篠ノ井地区の市民ワークショップでは、共同研究代表者として、公共施設マネジメント推進の視点から、さまざまな助言をいただきます。

また、信州大学工学部建築学科の寺内美紀子准教授と信州大学生も、ワークショップに参加する予定です。

(左は、平成29年1月12日連携協定締結式の写真です)

「BaSSプロジェクト」は、国立研究開発法人 JST科学技術振興機構 社会技術研究開発センターにおける「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域で、平成28年度に採択されたプロジェクトです。



### 開催の都度、回覧でお知らせします。

毎回、ワークショップの開催結果等について、回覧でお知らせします。ご意見など、遠慮なく、お聞かせください。

←「マンガでわかる！公共施設等総合管理計画」に登場する、長野市の公共施設マネジメント推進のマスコット、長野家のネコ「ミーコ」です。

「ミーコ」の生みの親は、篠ノ井地区の『長野俊英高等学校 漫画研究部』の皆さんです。

# 第1回 市民ワークショップ オリエンテーションと、「篠ノ井の公共施設を知ろう」 をテーマにグループ作業を行いました

8月6日（日）篠ノ井公民館で「篠ノ井地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

はじめに市から、長野市の公共施設の現状や課題などについて説明し、そのあとグループごとに「知っている篠ノ井地区の公共施設を書き出してみる」作業と発表を行い、市から公共施設の配置図や施設の概要調書などを配布しました。

ご参加いただいた皆さま、御協力ありがとうございました。

グループ作業の様子です



なごやかな雰囲気の中、様々な意見が出されました

今後の予定		内容（予定）	会場
第2回	8月27日（日）	グループ討議 テーマ ～公共施設に求められる機能、サービス～	篠ノ井公民館 （第一学習室）
第3回	9月10日（日）	グループ討議 テーマ ～南部図書館と篠ノ井駅 周辺の公共施設再配置の将来像～	
第4回	9月23日（土） （秋分の日）	意見発表、まとめ	

いずれも時間は午後2時から4時です。

◇第2回目から本格的なグループ討議が始まります。興味のある方は、ぜひ会場にお越しください。飛び入り参加も大歓迎です。

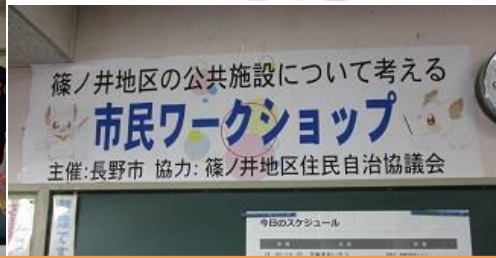
◇長野市公式ホームページ  
「公共施設マネジメント推進課」に  
当日の資料などを掲載して  
いますので、ご覧ください。

【お問い合わせ先】  
公共施設マネジメント推進課  
電話：224-7592  
篠ノ井支所 電話：292-2590





# 参加メンバーからのご意見の一部を紹介します



## 【ワークショップの進め方などについて】

- ◆公共施設というイメージが広がった。配布された資料などをよく読んでみたい。
- ◆篠ノ井のまちの姿を描いて、公共施設の在り方を考えるワークショップを進めて欲しい。
- ◆施設の役割や将来像について、前提なく議論できる場にしてもらいたい。
- ◆公共施設の場所が理解できた。次回以降、深い議論ができることを期待している。
- ◆次回からもっと色々な意見が聞ければと思った。自分も発言していきたい。
- ◆公共施設の場所、配置、設置目的などを理解することが必要だ。
- ◆会場が狭くて聞き取りづらい。もう少し時間が欲しかった。
- ◆初対面の人ばかりで話せるか心配だったが、全体の雰囲気柔らかくて作業しやすかった。

## 【篠ノ井地区の公共施設について】

- ◆篠ノ井地区の公共施設について初めて知ることが多く、有意義な時間になった。
- ◆篠ノ井には美術館等ギャラリー機能が欠如している。今は無い施設を加えることも考えたい。
- ◆学校施設には歴史がある。継承する価値は数値化が難しいが、考慮すべきテーマだと思う。
- ◆南部図書館の移転改築について、図書館利用者として考える所があった。しかし、これからは、篠ノ井地区の公共施設全体の在り方や配置についても住民の一人として考えたいと思った。
- ◆これからも、全ての人が心地よく利用できる場所作りを考えていけたらと思う。自分も老人になったり、障害者になったりするの、そのことも頭において考えたい。

## アドバイザーの堤先生(前橋工科大学准教授)のお話を紹介します。



『篠ノ井地区にある公共施設をどのくらい知っていますか』

- ・公共施設が、どこにあるか知ってますか？  
→どんなことができる施設(建物)か確認しましょう。
- ・使った事のある施設は、どんな施設でしたか？  
→どのように見直せば良くなるか考えましょう。
- ・使ったことの無い施設は、なぜ使わなくても良いのでしょうか？  
→なぜその施設が必要なのか考えてみましょう。
- ・その施設、本当に広いと良いですか？広さよりも…  
→どんな施設が良いのか考えてみましょう。

- ・本当に今の場所が良いですか？ 施設は動きません。だから場所はとても重要です。  
→どの場所が良いのか考えてみましょう。
- ・その施設は誰のものでしょうか？ 例えば学校は、子どもが使うから子どものものですか？  
→自分が使う・使わないに関係なく、皆さん全員の施設ではないですか？
- ・施設の使い方を見直しましょう。例えば図書館は本を読むだけ？勉強する、少し休憩したい…など  
→今までの使い方の良いですか？ 使い方を見直すチャンスです。

『これからのワークショップを通して、公共施設の話だけでなく  
これまでの生活を見直す、これからの生活を考える、きっかけにしてください。』



◇第1回と第2回の結果を、広報ながの10月号にあわせて回覧しています。  
第3回と第4回の結果は、広報11月号にあわせて回覧します。お楽しみに！



## 第2回

# 市民ワークショップの結果をお知らせします

8月27日（日）篠ノ井公民館で、2回目の「篠ノ井地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

今回のグループ討議では、第一部で「公共施設で出来ること、今までしたこと」を出し合い、続く第二部で「私たちが公共施設でしたいこと」を考え、次回のワークショップで中心的に考える施設をグループ毎に決めていただきました。

参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

### グループ討議の内容を紹介します

#### 第1回WS

◇オリエンテーション

①「篠ノ井駅周辺で知っている公共施設を出し合おう」

（ねらい：篠ノ井駅周辺に公共施設がたくさんあること、使ったことが無い施設があることを再認識する） **グループ意見発表**

#### 第2回WS

①「公共施設で出来ること、今までしたことを出し合おう」

②「私たちが公共施設でしたいことを考えよう」

（ねらい：全体テーマである南部図書館移転改築や篠ノ井駅周辺活性化の視点から、公共施設でしたい活動や、こんな施設にしたいといった意見を出し合う） **グループ意見発表**

#### 第3回WS（予定）

①「グループで取上げたい施設を中心に、周辺施設の機能集約化を考えよう」

②「篠ノ井駅周辺の再配置計画(案)を考えよう」

（ねらい：堤先生の再配置の提案も参考にしながら、一定のエリアで再配置計画の提案をまとめていく） **グループ意見発表**

#### 第4回WS（予定）

①「他のグループの意見発表も参考に、再配置計画(案)をまとめよう」

◇各**グループ意見発表**

◇講評・まとめ、記念写真撮影



人生の大先輩の皆さんが熱く語り合うAグループ



大学生から中学生まで参加したEグループの発表

ワークショップの結果、篠ノ井の公共施設に対するご意見・ご質問などありましたら、遠慮なくお聞かせください。

第3回と第4回のワークショップの結果は、来月、お知らせ(回覧)します。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話：224-7592

篠ノ井支所 電話：292-2590

日程により1回目と2回目の結果を一緒に回覧しています





# 「私たちが公共施設でいたいこと」



## 各グループから発表された主な意見をご紹介します

### 【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

◆取上げたい施設⇒南部図書館

◇本の交換会、展示会、発表会など交流の場になる施設にしたい。こども広場を一体整備したり、学校に通えない子どもの居場所に使える施設にして世代間交流を。

◇篠ノ井駅の東西をつなぐ自由通路は、自転車に乗って通行できるようにしたい。

◇公民館の部屋が足りない。市が駅前の空き家を借り上げて利用できないか。カフェも欲しい。

### 【Bグループ】 人生の先輩の皆さん

◆取上げたい施設⇒南部図書館と学校施設

◇利用者がくつろげる、まちの縁側的な施設に。休館日・夜間の利用も出来る図書館にしたい。

◇コンビニエンスストア機能もあると便利。学校の図書館とネットワーク化できないか。

◇図書館は篠ノ井だけの施設ではない。ワークショップの議論を活かし、じっくり検討を。

### 【Cグループ】 お父さん・お母さん世代の皆さん

◆取上げたい施設⇒南部図書館と保健センター機能

◇図書館にカフェや読み聞かせのできる個室などを。館長を公募し積極的運営を。時間延長も。

◇保健センターが遠いので、篠ノ井駅前にセンター機能があると便利。0歳児のお母さんが集えピラティスなどもできる場所にしたい。今のこども広場は部屋も駐車場も狭いので改善したい。

◇児童センターで学習支援や食事ができれば。屋外市民プールが屋内プールになれば良い。

### 【Dグループ】 これからのリーダー・若手の皆さん

◆取上げたい施設⇒まちづくりの拠点となる新しい図書館

◇本を借りるだけではない誰もが使える場所に、フリーマーケット、ミュージカルもできれば。

◇医療・教育・スポーツ・商店街など、茶臼山からUスタジアムまで繋がる篠ノ井のまちを見据えた、多彩な活動が行われる図書館に。そのためには行政だけではなく市民参加の運営が必要。

◇こども広場との連携、大学との連携やインターネットを活用した事業を。

### 【Eグループ】 大学生～中学生の皆さん

◆取上げたい施設⇒学校施設を活用した再配置

◇学校には、普通教室だけでなく、体育館・校庭・音楽室・家庭科室・視聴覚室など、さまざまな機能を持つ施設がある。スポーツ、バザー、アスレチックなど大人や小さな子どもに社会開放すれば色々な活動が可能になるのでは。

◇こども広場を社会開放、逆に学校をこども広場として活用する。老人福祉施設と複合化できれば多世代交流できる。ただし、学校を複合化・多機能化するにはセキュリティーの確保が必要。

◇学校図書館を活用し移動図書館サービスが充実すれば、施設としての図書館は要らないかも。

【堤先生のアドバイス】 ワークショップの限られた時間の中では難しいが、

★ワークショップの中で、今ある公共施設の使い方を考える・・・もっと活用できる方法はないか、こんな使い方でもできるのではないか。

★公共施設の運用方法を考える・・・いろいろな使い方を、どうやったら実現できるか。自分たちに何が出来るのか。

★公共施設はみんなのものだから、意識を持って話し合おう。

☆ワークショップにおける各グループの意見や、配布資料などは、[長野市ホームページ](#)>公共施設マネジメント推進課>篠ノ井地区ワークショップ に掲載していますので、ご覧ください。

第3回

市民ワークショップの結果をお知らせします

9月10日（日）篠ノ井公民館で、3回目の「篠ノ井地区の公共施設について考える 市民ワークショップ」を開催しました。

今回は「南部図書館と篠ノ井駅周辺の公共施設再配置の将来像について考える」をテーマに、それぞれのグループ独自の再配置（案）を考えていただきました。

まずアドバイザーの堤先生から、篠ノ井駅東西自由通路を活用して図書館が整備できるのでは？というアイデアを含む再配置の考え方の提案がありました。

その後「①集約化・複合化を考える、②公共施設以外の活用を考える、③将来まで残す施設を考える」の三つの視点を踏まえてグループ討議を行って、次回に向けた中間発表をしていただきました。

参加いただいた皆さま、熱心な議論をいただき、ありがとうございました。。

お父さん・お母さん世代のCグループ



これからのリーダー・若手のDグループ

人生の先輩の皆さんBグループ

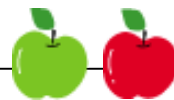


堤先生から「朝を楽しむ図書館」の提案



日程により3回目と4回目の結果を一緒に回覧しています

次回9月23日が最終回。  
各グループの意見発表会です。  
篠ノ井駅周辺の活性化や将来のまちづくりを見据えて、新鮮なアイデアが発表されることを期待しています。



【お問い合わせ先】  
公共施設マネジメント推進課  
電話:224-7592  
篠ノ井支所 電話:292-2590



# 各グループから発表された主な意見をご紹介します

## 【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

◆検討の方向性＝南部図書館と学校を活用した再配置

◇子ども広場を図書館と複合化。図書館に子どもや子育て世代が集まる工夫を。子どもが本を読む力をつける。住民参加の図書館づくりを。こども広場の分室も必要では。

◇青少年ホームと女性の家は一つに統合。人権同和教育集会所は学校の空き教室に統合。

## 【Bグループ】 人生の先輩の皆さん

◆検討の方向性＝南部図書館を中心とした再配置

◇町づくりの核となる、図書館の概念にとらわれない図書館にする。東西自由通路の活用も。

◇青少年ホーム、働く女性の家、子ども広場、子どもの園保育園は図書館に機能集約する。

◇駐車場、ぐるりん号といった交通対策が必要。

## 【Cグループ】 お父さん・お母さん世代の皆さん

◆検討の方向性＝図書館、保健センター、子ども広場の再配置

◇保健センター機能を篠ノ井駅の西口に。青少年ホームと女性の家は統合し公民館分館に。

◇子ども広場は篠ノ井中央公園等につくる。あるいは、現在地に加えてサテライトを作る。

◇図書館は複合化するのではなく機能を充実させる。図書館本来のサービスを提供する。

## 【Dグループ】 これからのリーダー・若手の皆さん

◆検討の方向性＝まちづくりの拠点となる図書館を中心とした再配置

◇図書館を中心として駅前の活性化を図る。場所は要検討。子ども広場は図書館に機能を統合。

◇新しい総合市民センター（公民館）は利用に制約がある。図書館で不足する機能を補えるようにしたい。県の埋蔵文化財センターとも連携できれば。

◇学校の防災拠点機能を充実させ、通常時は会議室等に活用。篠ノ井体育館も避難場所に活用。

## 【Eグループ】 大学生～中学生の皆さん

◆検討の方向性＝学校施設を活用した再配置

◇図書館機能は小中学校に分散させる。学校図書館のネットワーク化や移動図書館の充実を図れば、図書館というハコモノは無くても良い。本のある場所に学生・子どもを集めるのではなく、

学校に本を集める発想。児童センターは小学校に統合。南部図書館跡に子ども広場と保育園を。

↓堤先生（前橋工科大学）から提案された「朝を楽しむ図書館」のイメージイラストです↓



この案のように  
従来の施設に縛られない使い方を  
提案してください！



終了後のアンケートでは「沢山の夢のある意見が出て楽しかった。分りやすく議論ができた」といった声と「ワークショップは4回では少ない。もっと落ち着いて議論すべき。時間が足りなかった。タイムスケジュールをしっかりと管理して」といった声をいただきました。

また「ワークショップの話し合いを市政に反映して欲しい。未来の篠ノ井のために若い人の意見を広く取り入れるべき」など、これからの期待する意見をいただきました。



# 最終回 市民ワークショップ 「私たちが考える、公共施設再配置(案)」

## をテーマにグループ討論を行いました

9月23日(土)篠ノ井公民館で、市が主催する最後の「公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

既存の公共施設の再配置を考えるグループ討論を行い、まとめとなる意見発表を行いました。アドバイザーの堤先生から講評をいただき、住民自治協議会の平林会長のあいさつの後、樋口副市長から御礼のあいさつを申し上げます。最後に参加者全員で記念撮影を行い、篠ノ井地区のワークショップは幕を閉じました。



各グループから、篠ノ井駅周辺の公共施設の再配置案を、短い時間の中でまとめて発表していただきました。(詳細は次ページをご覧ください)

今後、具体的な再配置及び施設整備に向けた検討につきましては、今回のワークショップでいただいたご意見等を参考に、住民自治協議会をはじめとする地域の皆さまや、広く市民の皆さまの意見をお聴きしながら協議を重ねてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

**市民ワークショップや公共施設マネジメントに対するご意見、ご要望などありましたら、遠慮なく下記までお寄せください。**



今回のワークショップは、上は80代から、下は中学生まで、幅広い年代のメンバーが、熱い討論を重ねていただきました。  
「ミーコ」の生みの親である、長野俊英高等学校の生徒達も参加してくれました。

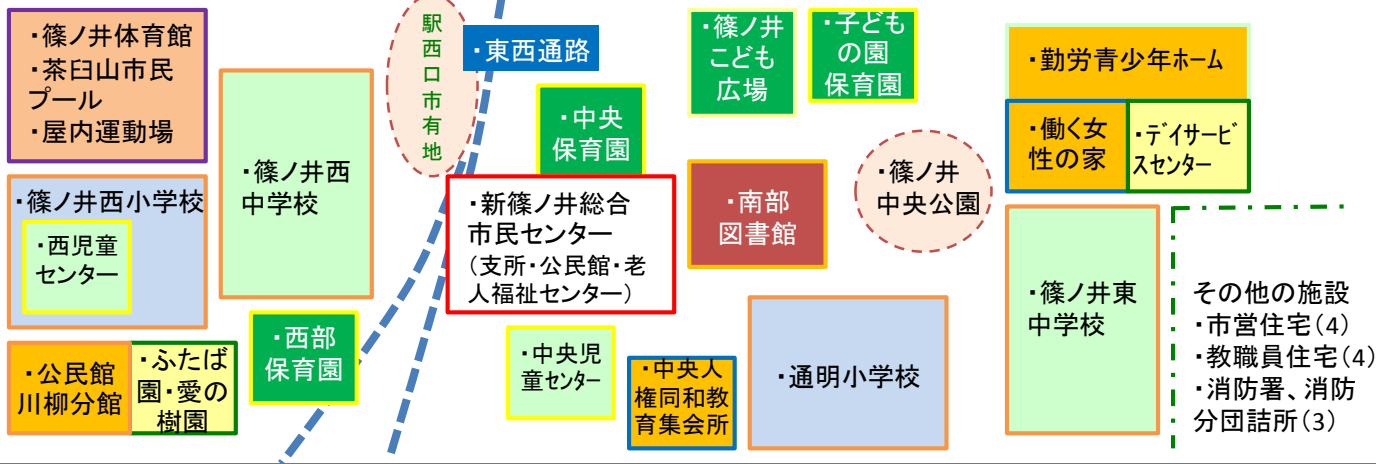
【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室

電話:224-7592

篠ノ井支所 電話:292-2590

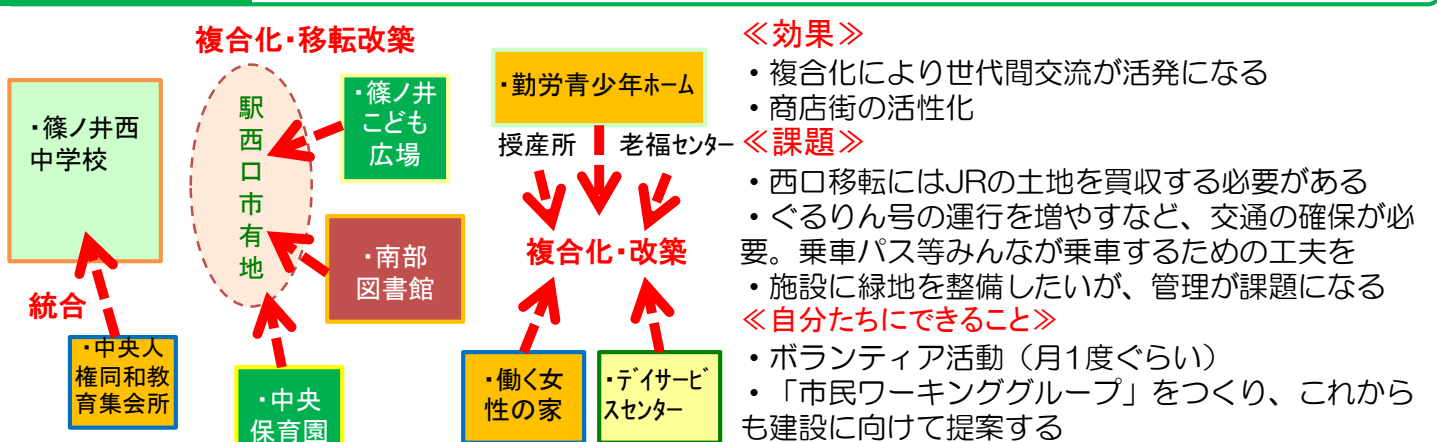
篠ノ井駅周辺の施設イメージ図（施設の配置を簡略化した図です）



各グループの施設再配置案の概要をご紹介します

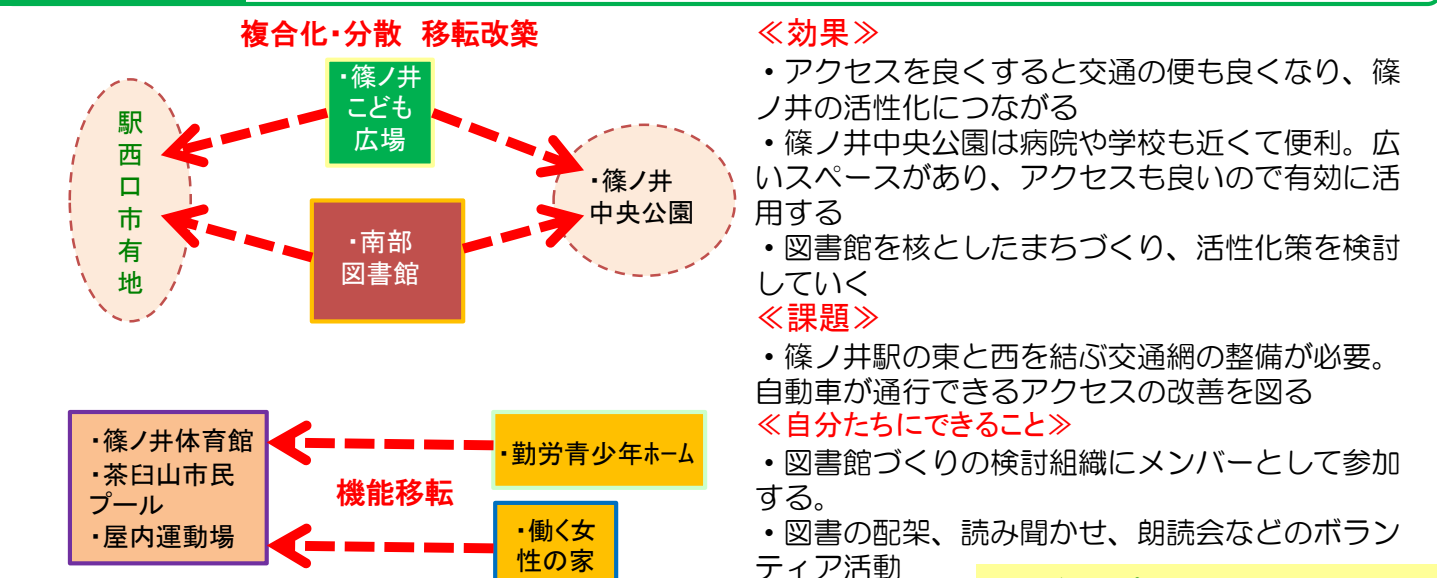
以下に、建物移す案を **--->** で、機能を移す案を **--->** で、表しています

**Aグループ** コンセプト【50年100年後も生き生き活用できる施設】



【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

**Bグループ** コンセプト【南部にも核となる図書館を！】



【Bグループ】 人生の先輩の皆さん





# 参加者アンケートの主な意見をご紹介します



## 【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

- ◆図書館が無い市町村もある中で、地域に図書館があることが有難いと思う
- ◆公共施設はそれぞれ特徴があるので、複合施設の難しさを感じた
- ◆「人口減少時代の都市像をどう考えるか」とする検討のコンセプトは理解できる
- ◆大勢で話し合うので仕方ないが、深くかかわって意見を出せる時間が短いと思う
- ◆今後の取り組みの中で、より議論を深め、より良いまちづくりに生かして行くことが必要

## 【Bグループ】 人生の先輩の皆さん

- ◆より良い図書館を目指して、将来すばらしい図書館が生まれることを望んでいます
- ◆色々な意見に遭遇してとても参考になり、楽しくすごしました
- ◆西口は住宅エリア。住宅なら今のアクセスで良い。図書館は中央公園又は埋蔵文化センターの場所に。駅の西側にするなら道路を開通してからにすべき

## 【Cグループ】 お父さん・お母さん世代の皆さん

- ◆篠ノ井の住民にアンケートを取ることで、家族の中でも話し合える良い機会になるのでは
- ◆お金が無いといいながら、夢がつぶれるというのはいかがなものか。工夫していくこと、長野市を良く考えていくべき
- ◆ワークショップは全ての入り口だと思う。今後のやり方、プロセスを含め明示していただきたい。南部図書館は十分な検討の機会を作って欲しい

## 【Dグループ】 これからのリーダー・若手の皆さん

- ◆どんな街をつくるのかコンセプトを考えて積上げていくことが重要。施設単体で考えていてはバラバラなまちづくりになる気がする
- ◆建物の図面が出来る前のワークショップは画期的。意見を出しやすい場づくりも良かった
- ◆床面積を拡大しない案を考えたいと思っていたが、やりたいことをまとめていくと現状より大きくなってしまった。メンバー公募の段階で具体的なテーマを示した方が議論が深まる

## 【Eグループ】 大学生～中学生の皆さん

- ◆自分に関係ない施設ばかりだと思っていたが、住民が協力してこれからのことを考えなければならないことを思い知らされた。新しい施設を作る際は複数意見を聞くのが大切だと感じた
- ◆篠ノ井の未来を考えられて良かった。市民に愛されて使われている公共施設はすばらしいと思うし、今後も続いていくと良いと思う
- ◆未来を変えようとみんなで話し合い、それが現実になる可能性がある
- ◆利用しない施設が多い中、ランニングコストが高いことも聞き、ぜひ無駄を無くして欲しい

【堤先生の講評から】参加メンバーの皆様に感謝。ワークショップで終わりにしたくないという意見が多かった。4回の限られた時間の中では具体的な提案までまとめるのは専門家でも難しい。ワークショップはスタートのきっかけ作り。地域住民の皆さんが、自らこれからの取組を考えて、主体的に行動し、行政を巻き込んでいくような活動が必要。私も可能な範囲でお手伝いしたい。1月20日に芸術館で市民シンポジウムを開催するので、ぜひ参加いただきたい。

ワークショップメンバーの皆さま、住民自治協議会の皆さま、ありがとうございました。  
今後も引き続き、ご協力をお願いします。

